

「医療崩壊防止、文化・芸術支援で積極的取り組み 新型コロナで独自対策進める杉並
区長」

新型コロナウイルス感染対策に積極的な自治体首長として知られる田中良東京都杉並区
長が6月25日、日本記者クラブで記者会見し、医療崩壊防止や文化・芸術支援などの取り
組みを詳しく紹介した。都民に自粛を要請し続けた東京都の対策に対し「知事の説明は不
十分」など多くの疑問も呈した。

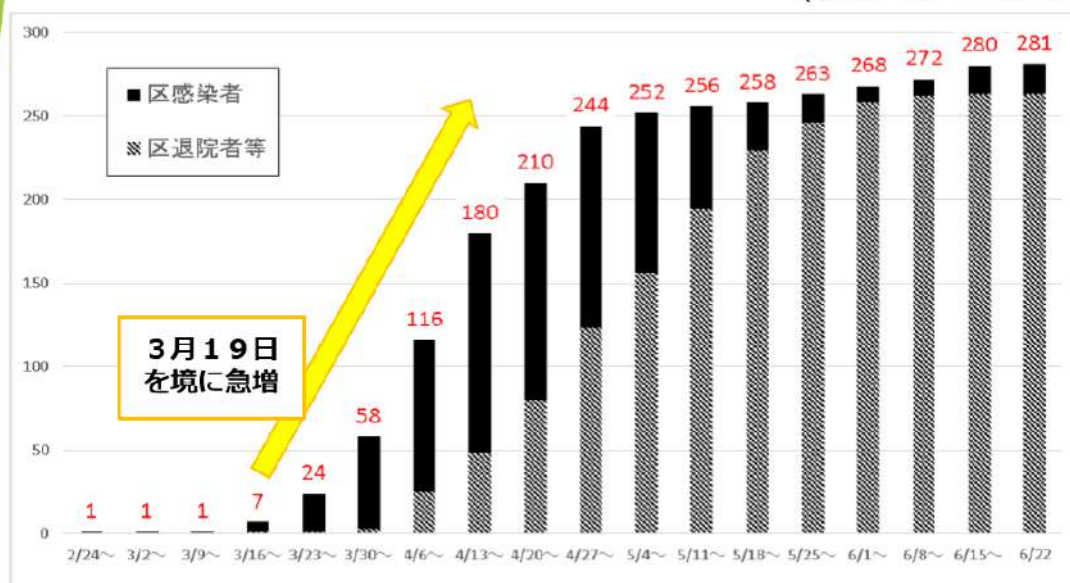


田中良東京都杉並区長（日本記者クラブ）

杉並区は東京都の中心部を構成する23区の一つ。農地が多い地域だったが東京の発展と
ともに住宅都市としての性格が強まり成長してきた。主産業は商業。都心では比較的自然
に恵まれた地域とされる。区内の病院で最初の感染者が見つかったのは2月18日。区外か
らの入院患者だった。すぐに周辺のPCR検査を実施するなどの対応で院内感染は2人で収
めることができた。新たな感染者の発生がない時期がしばらく続いたが、3月19日を境に
感染者が急増する。現在、増加は止まり、感染者は6月22日時点で281人（大半はすでに
退院するなど通常の生活に復帰）にとどまっている。感染者数は約57万7,000人の区民の
0.05%、都全体の感染者数から見ても5%程度で特に多い地域ではない。ただし、感染拡大
の時期は「戦慄が走った」（田中区長）というほど感染者増のスピードが急激だった。

杉並区における 新型コロナウイルス感染症陽性者数の推移

(2月24日～6月22日)



(田中良杉並区長記者会見資料から)

医療機関の収入減補てん

杉並区は4月20日に令和2年度第1号補正予算を成立させ、区内医療機関への包括補助として22億7,960万円を計上した。新型コロナウイルスのような感染症に対応する感染症指定医療機関は、田中区長によると東京都に15しかなく、杉並区にはない。4つの区内基幹病院に新型コロナウイルス感染患者を受け入れるための病床を増設し、患者専用の外来診療スペースとなる「発熱外来センター」を新設するための予算だ。

田中区長は、こうした医療機関に対する支援が経済支援を含む包括的なものであることも強調している。新型コロナウイルス感染が起こるまで2床しかなかった感染患者受け入れ可能な病床も現在、4基幹病院合わせると79床に増えた。その結果、4基幹病院は減収を余儀なくされる。病床増設や発熱外来センター設置などによる支出の増加に加え、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れによって他の診療・入院の受け入れが減るからだ。

実際に病院の経営が深刻な状況になっていることは、5月27日に日本記者クラブで記者会見した全日本病院協会の猪口雄二会長も詳しく報告している。同協会などが5月7日～5月21日に実施した全国調査の結果、新型コロナウイルス感染患者の入院を受け入れている

339 病院は 4 月だけで平均 9,617 万円の赤字。さらに一時的に病棟を閉鎖せざるを得なかった病院が 180 あり、これらの病院は平均 1 億 1,557 万円の赤字だった。

杉並区の支援策は、各基幹病院の過去 3 年の 4~6 月間の収入を平均した額と、今年 4~6 月の収入額との差額を減収分として各基幹病院に助成する。補助額は 1 病院につき、月額約 1 億 2,800 万円から約 2 億 8,000 万円と見込んでいる。

4 つの基幹病院に設置する発熱外来センターは、区内の開業医がローテーションで診療を行うのが特徴。新型コロナウイルス感染の疑いがある患者を、多くが小規模・少人数で運営している開業医が診るのは難しい。開業医の診療機能を発熱外来センターに集約することで、基幹病院の診療体制を強化し、かつ、開業医が院内感染のリスクを低減しながら本来の一般診療に専念する環境を整備する。それが発熱外来センター新設の狙いだ。地元医師会の協力なければできないので、補正予算には区内の開業医に応援を要請する費用が盛り込まれている。発熱外来センター勤務に対して、年末年始の休日夜間診療と同額となる 1 日当たり 16 万 130 円（8 時間勤務）を支払うという内容だ。

医療政策は国、都の責任

杉並区がこの補正予算を成立させたのは安倍晋三首相が東京都をはじめとする 7 都府県を対象に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を発した 4 月 7 日のわずか 13 日後。東京都の緊急事態措置が公表された 4 月 10 日の 10 日後だった。「緊急事態宣言は医療崩壊が起きたから出された。医療政策は、都と国の責任。医療崩壊を起きないようにするのを優先しなければならないのに、対応は遅れた」。区がいち早く医療機関への包括的支援に踏み切った理由を田中区長はこのように説明した。

「オーバーシュート（爆発的患者急増）が起きる前に必ず医療崩壊が起きると指摘されている。経営について心配せず医療に専念してもらうためには区財政を直接投入することが必要と考えた」。医療崩壊防止を優先した心情を田中区長はこのようにも明かしている。

補正予算には、「マスクなどの購入費」として 1 億 5,678 万円も計上されている。マスク、手指消毒剤、非接触型体温計、防護服を、医療機関と区職員、区民利用施設に配布するための費用だ。杉並区は、新型コロナウイルス感染前からマスク・手指消毒剤を計画的に備蓄していた。マスクの備蓄量は震災救援所用と合わせると 85 万 7,000 枚に上る。これまでに窓口対応の区職員や施設利用者などと密接に接触する区職員を対象に約 26 万枚を配布済み。区内医療機関にも 6 万 5 千枚を提供している。今後の感染拡大と長期化を想定し、合計 300 万枚のマスクと、手指消毒剤（1 リットル入り 5,000 本、500 ミリリットル入り 5,600

本)、非接触型体温計 427 本、防護服 1,800 セットを新たに備蓄する費用が含まれている。

マスクについても東京都の対応が全く不十分だったことを田中知事は強く批判した。小池百合子東京都知事が「20 万枚を確保した」という発言をしたことを取り上げ、「200 床の病院で使用するマスクの量は 1 日 1,000 枚。2 月中旬の時点で区の 4 基幹病院では 1 週間分のマスクしかないという状況だった。20 万枚では都内の 1 病院当たり 3,000 枚くらいしか配れず、何の対策にもならない」と指摘した。



緊急事態措置を公表する直前の 4 月 7、8 日にテレビ会議方式で東京都の区市町村長と意見交換する小池百合子東京都知事（東京都ホームページから）

一律の自粛要請も批判

都民の自粛を求め続けた小池知事の対応についても、田中知事は厳しい見方を明らかにしている。東京都は 4 月 10 日に出した緊急事態措置で、都民に対し生活の維持に必要な場合を除き、原則として外出しないことを要請した。さらに事業者に対しても遊興施設、大学・学習塾、運動、遊技施設、劇場、集会・展示施設、生活必需物資・サービス除く施設に対し、休業を要請した。5 月 25 日に緊急事態措置を終了した後も、すぐにすべての施設の休業要請を解除せず 3 つにグループ分けし、各グループに対する要請解除の時期をずらすという方法をとった。運動施設や劇場などについては、イベントの上限人数を設けるといった条件付きの休業要請緩和措置だ。

「カラオケやマージャンの自粛要請は理解できる。しかし、満員電車の状況をそのままにして、ゴルフ場に自粛を求めることに科学的な根拠はあるのか」など、田中区長は自粛要請の中身についても強い疑問を呈した。ライブハウスでのロック演奏会とクラシック音楽のコンサートを同じように扱うことにも強い違和感を示した。6月17日に成立した区の第5号補正予算には「すぎなみアート応援事業」を立ち上げる費用2億3,120万円が含まれている。区内の劇場、ライブハウス、ホール、ギャラリーなどの施設を運営する事業者に対して文化・芸術発信の場を継続するための給付金、文化・芸術事業者への助成金、区と友好関係にある日本フィルハーモニー交響楽団の6公演に対する活動支援金から成る。

不満は足元の護送船団方式型対応にも

「天井も高い大きなホールで聴衆が静かに聴く。そんなクラシック音楽演奏会に対してもし入場人員が何人以上は駄目などと決めるのはおかしい」。都の対応を厳しく批判する一方、都の措置に一律に従う足元の現状にも不満を表明した。不満の矛先の一つが、64ある区立の小中学校の校長たち。「教育に金は出すが口は出さない」という信条を明らかにしたうえで、「大事なことは、新型コロナウイルスがどのようなものかを正しく伝え、生徒児童が自分で自分の身を守るという思考と取り組みができるよう指導していくことではないか。皆がやるからやろうということではなく」と現状に対する不満を明らかにした。「自分が生徒児童だったら、右へ倣えという護送船団方式のような校長たちの姿勢に魅力は感じなかったらう」とも言い切った。

今後の対策についての記者からの質問に対して田中区長は「今後、感染拡大に備え、軽症者のためのホテルを含む病床の確保とPCR検査能力の増加に力を注ぐことを挙げた。4基幹病院での検査を中心とする体制を当面継続しつつも、区内の医療機関との協議を進め、現在1日70件の検査能力を180件まで増やす方針を明らかにした。

日文 小岩井忠道 (JST 客観日本編集部)

関連サイト

日本記者クラブ会見レポート「新型コロナウイルス」自治体の奮闘 田中良・杉並区長」

<https://www.jnpc.or.jp/archive/conferences/35671/report>

同「Youtube 会見動画」

<https://www.youtube.com/watch?v=1SOCQaQtZeM&feature=youtu.be>

杉並区ホームページ「杉並区長記者会見『新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算案』」

https://www.city.suginami.tokyo.jp/res/projects/default_project/page/001/059/619/020

[413kaiken.pdf](#)

杉並区ホームページ「杉並区長記者懇談会『令和2年度杉並区一般会計補正予算（第5号）について』」

https://www.city.suginami.tokyo.jp/res/projects/default_project/page/001/059/619/020615kisyakoon.pdf

関連記事

2020年06月12日「【新型コロナウイルス】家有学龄前儿童的母亲负担明显加重，育儿状态回到半个世纪前」

https://www.keguanjp.com/kgjp_shehui/kgjp_sh_yishi/pt20200612000002.html

2020年06月08日「【新型コロナウイルス】东京商工调查：截至6月1日疫情已致日本197家企业破产」

https://www.keguanjp.com/kgjp_jingji/kgjp_jj_jj/pt20200608000002.html

2020年06月04日「【新型コロナウイルス】日本演出及体育行业损失严重，估计将达6900亿日元」

https://www.keguanjp.com/kgjp_jingji/kgjp_jj_etc/pt20200604000003.html

2020年06月03日「【新型コロナウイルス】疫情导致医院亏损严重，全日本医院协会会长呼吁国家紧急实施补贴」

https://www.keguanjp.com/kgjp_jingji/kgjp_jj_jj/pt20200603000003.html

2020年05月19日「【新型コロナウイルス】调查：自肃生活主妇压力最大，响应政府要求自肃的人仅占3%」

https://www.keguanjp.com/kgjp_shehui/kgjp_sh_yishi/pt20200519000002.html

2020年04月30日「【新型コロナウイルス】感染防护用品严重短缺，日本救急医学会代表理事等发出呼吁」

https://www.keguanjp.com/kgjp_keji/kgjp_kj_smkx/pt20200430000004.html